

サステナビリティ基本方針

1. 基本理念

当社は、「技術は命」「良品は力」「誠意は道」という企業理念を基盤とし、中期スローガンである「安心をお届けする不二精機グループ」のもと、社会から信頼される企業を目指しています。地球環境問題を含む気候変動リスクへの対応を重要な経営課題の一つとして捉え、環境への配慮、品質の向上、誠実で公正な企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 重点領域

当社は、サステナビリティを巡る課題がリスク低減のみならず、収益機会の創出にもつながる重要な経営課題であると認識しています。

中長期的な企業価値の向上とサステナビリティ課題の解決を両立するため、当社グループが対処すべき重要課題を整理し、リスク管理および収益化の観点から踏まえた取り組みを継続的に検討・推進します。そのうえで、現時点では特に以下の領域を重要なサステナビリティ課題として位置づけ、重点的に取り組みます。

○気候変動への対応

TCFD 提言に沿い、ガバナンス・戦略・リスク管理・指標および目標の観点から事業への影響を把握し、適切な開示と対応を進めます。

○人的資本の強化

従業員の安全と健康を最優先とし、内部統制およびリスクマネジメント体制の整備を進めています。また、「人材は最も重要な経営資源」であるとの認識のもと、多様性を重視した中核人材の育成と活躍支援に取り組み、人的資本の持続的な成長基盤の強化を推進します。

○ガバナンス

法令遵守、企業倫理、内部統制の充実を図り、サステナビリティ課題に対する監督機能の強化と経営の透明性向上を推進します。

3. 推進体制

当社は、サステナビリティ関連のリスクおよび機会を適切に監視・管理するため、コンプライアンス・リスク管理委員会内にサステナビリティ担当を設置しています。

サステナビリティ担当は、持続可能性の観点から「環境」「社会」「ガバナンス」に関わるリスクの把握および対策を実施し、その内容を取締役会へ定期的に報告する体制を整備しています。（詳細な体制は有価証券報告書に掲載）

これにより、サステナビリティ課題に対するガバナンスを強化するとともに、全社的な取り組みの実効性向上を図ります。

4. 見直し・開示方針

当社は、サステナビリティを取り巻く社会環境やステークホルダーからの要請の変化を踏まえ、本基本方針および関連する取り組みを継続的に見直し、必要に応じて改善を行います。

また、サステナビリティに関する情報については、適時・適切かつ透明性の高い開示に努め、ステークホルダーとの建設的な対話を推進します。